第12講 中国史（隋まで）

〔1〕魏晋南北朝〔220 ~ 589〕

①**三国時代**〔220 ~ 280〕

魏〔220 ~ 265〕 都　洛陽

曹丕（曹操の子．文帝）…**魏**を建国（220） → 後漢滅亡

・**屯田制**（土地制度）・**九品中正法**（官吏登用法）の実施

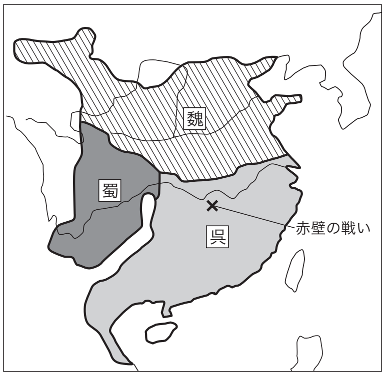
蜀を征服（263）．**司馬炎**に滅ぶ（265）

蜀〔221 ~ 263〕 都　成都

劉備による建国…諸葛亮（孔明）登用（三顧の礼）．天下三分の計（赤壁の戦い，208）

呉〔222 ~ 280〕 都　建業

孫権による建国



②**晋・五胡十六国時代**

晋（**西晋**）〔265 ~ 316〕 都　洛陽

司馬炎（**武帝**）による建国．呉を征服して中国統一（280）

・**占田法・課田法**（土地制度）の実施

八王の乱（290 ~ 306）で混乱．永嘉の乱（316．南匈奴の劉聡）により滅ぶ

東晋〔317 ~ 420〕 都　**建康**

司馬睿（西晋の一族）

江南の開発

僧　**法顕**の渡印『**仏国記**』

五胡十六国時代〔304 ~ 439〕

五胡と漢民族の国家が華北で興亡

・五胡…**匈奴・羯**（民族系統不明）**氐・羌**（チベット系）**鮮卑**（モンゴルorトルコ系）

淝水の戦い（383）…苻堅（氐の前秦）が東晋に敗北

仏教の布教…西域僧（亀茲出身）**仏図澄・鳩摩羅什**（仏典の漢訳）

③南北朝時代〔439 ~ 589〕

北朝〔439 ~ 581〕北魏 → 東魏・西魏 → 北斉・北周

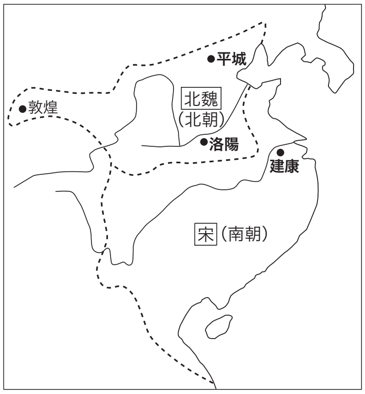
北魏〔386 ~ 534〕

拓跋氏（鮮卑族）が建国　都　**平城** → **洛陽**
（**雲崗石窟**）（**竜門石窟**）

・拓跋珪（道武帝）による建国

・**太武帝**…華北統一（439）

・**道教**（**寇謙之**が大成）の国教化 → 廃仏（仏教弾圧．三武一宗の法難）



・**孝文帝**…**漢化政策**（中国化政策）　**洛陽**への遷都（494）

・**均田制・三長制**の実施

西魏…宇文泰…**府兵制**を創始

南朝〔420 ～ 589〕 都　**建康**

４王朝の興亡…**宋**（劉裕が建国）　→　**斉**　→　**梁**　→　**陳**

門閥貴族の勢力拡大

〔２〕魏晋南北朝時代の社会・制度

豪族による大土地所有化（漢王朝以来）

官吏登用法（漢：郷挙里選．魏：**九品中正**）　豪族の**門閥貴族化**

・「上品に寒門なく下品に勢族なし」（寒門は社会的に無力な家柄で勢族は有力豪族）

土地制度…豪族らによる大土地所有の制限を目的とする

・**屯田制**（魏）…農民や兵士に土地を与え耕作させた

・**占田制・課田法**（西晋）…土地所有制限（占田）・農民への土地の割当（課田）

・**均田制**（北魏）…農民・奴婢・耕牛への土地の割当

兵制

・**府兵制**（西魏）…均田農民の中から徴兵する兵制

郷村組織法

・**三長制**（北魏）…三長（隣長・里長・党長）が戸籍調査・徴税・均田制実施

戸籍調整法

・土断法（東晋）…江南への移住者の現住地を戸籍として徴税

〔３〕隋〔581 ～ 618〕 都　**大興城**（長安）

①**楊堅**（**文帝**．北周の外戚）

陳（南朝）を征服・中国統一（589）

科挙　**均田制・租調庸制・府兵制**の実施

突厥討伐　→　東西分裂

②**煬帝**

大運河の完成

高句麗遠征（３回．失敗）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第12講　テスト

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　220年後漢の献帝が曹操の子曹丕に禅譲し滅亡，魏が①洛陽の支配者となる。漢の皇族と自称する劉備は221年に②長安を都に蜀を建国，それ以前には③諸葛亮を④三顧の礼で迎えた。

2　豪族の連合体であった晋つまり西晋に①六鎮の乱が起き，そのころ五胡の活動が盛んになり始める。五胡とは系統不明の匈奴と羯，トルコ系といわれる鮮卑，チベット系にちがいない氐と羌の五つ。そのうち，②匈奴が洛陽を荒廃させたのが③永嘉の乱で，司馬一族の司馬睿は江南の建康つまり④南京に逃れ（316年晋の南渡），以後を東晋（317～420）という。

3　一方，五胡が華北に十六国を建国，これを①鮮卑族拓跋氏のつくった北魏が統一，前趙（漢）建国（304）から北魏による華北統一（②439）までを五胡十六国時代と呼ぶ。北魏の③太武帝は④王羲之の道教を国教とし仏教を弾圧した。これが中国史における仏教弾圧「三武一宗の法難」の最初の事例である。

4　北魏では後に仏教が復活し，首都①平城には雲崗の石窟がつくられる。②建文帝のとき洛陽に遷都，胡俗を捨て漢化しつつ485年に均田制を施行する。北魏においては奴婢や耕牛にも田が支給され，それらを所有する豪族の大土地所有が黙認されるかたちとなった。③洛陽につくられた石窟が④竜門である。

5　北魏は六鎮の乱の結果，西魏と東魏に分裂，それぞれが北周，北斉となり，①北周の外戚②楊炎が隋の文帝で南朝の③陳を滅ぼし，④589年中国を統一する。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6　豪族の大土地所有を制限しつつ安定した税収を確保するための魏晋南北朝時代の施策としてあげられるのが，①魏の屯田制，②西晋の占田・課田法，南朝の東晋から宋にかけての③土断法，そして北魏以降の北朝の鮮卑系各王朝の均田制，西魏の宇文氏の④傭兵制である。北魏の均田制は奴婢や耕牛ということはそれらを所有する豪農には多くの土地が与えられたが，隋ではそれらには支給されず，唐にいたっては妻にも支給されなかった。

7　江南地域を中心とした文化を六朝文化という。文学においては四六駢儷体が流行した。陶淵明は帰去来辞で有名。①梁の昭明太子は文選を編んだ。画聖といえば女史箴図を描いた②顧愷之，書聖といえば③陸九淵。老荘思想が発達し竹林の七賢による④清談が流行した。

8　仏図澄は洛陽で４世紀に布教，仏典を翻訳した①鳩摩羅什は４～５世紀に長安で布教した。②東晋の僧法顕は③ヴァルダナ朝時代のインドへ行き帰国し『④仏国記』を著した。

9　隋の文帝は均田制，①府兵制による兵農一致の原則を確立しつつ租調庸制により税収を確保，また②科挙を実施し，③前漢以降の九品中正法による「上品に寒門なく下品に勢族なし」といわれた④門閥貴族による官職の独占を防止しようとした。

解答

1　②→成都　2　①→八王　3　④→寇謙之　4　②→孝文帝　5　②→楊堅
6　④→府兵制　7　③→王羲之　8　③→グプタ朝　9　③→魏

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。